

1) 教育実習先修要件について

教育実習前年度（3年次終了時）に次に掲げる先修科目の単位を修得していないと教育実習に行くことはできません。

1～6の欄に定める科目（複数科目の場合、備考欄の指示を参照）を全て修得してください。

【2026年度入学生】

欄	科目名	単位	備考
1	人権論 A	2	いずれか1科目
	人権論 B	2	
2	教育原論 A	2	いずれか1科目
	教育原論 B	2	
3	学習・発達論 A	2	いずれか1科目
	学習・発達論 B	2	
4	教育課程論	2	
5	社会科・公民科教育法Ⅰ 社会科・公民科教育法Ⅱ	各2	
6	生徒・進路指導論	2	

2) 教職課程の履修にあたっての注意事項

(1) 履修登録制限単位について

時間割表に科目名とともに記載されている時間割番号の真ん中のアルファベットが「Z」で始まる科目については、履修登録制限に含まれません。そのため、登録制限単位を超えて履修登録することになります。予習・復習といった学修時間を確保する必要があるなど、綿密に履修計画を立てることが求められます。具体的には下記科目が履修登録制限に含まれません。

① 教職に関する科目

（ただし、教職に関する科目を兼ねている教養教育科目は、制限登録単位に含まれます。）

② 介護等体験に関する科目の「介護等体験」

③ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の「教職コンピュータ基礎」

④ 一部の教科に関する科目

(2) 抽選・選抜を実施する科目について

教員免許取得のために必要な科目は大部分の教職に関する科目を除き、ほとんどが教養教育科目、心理学部の専攻科目です。これらの中には第1回履修登録期間内に登録をしないと受講できない科目がありますので、履修要項で確認しておくようにしてください。

(3) 教員免許取得上の「必修」「選択」について

次のページ以降に出てくる履修要件の「必修」「選択」は教員免許取得上のものです。卒業要件の「必修」「選択」科目とは異なりますので注意してください。

(4) 次のページ以降に出てくる『分野』という記載について

「教養教育」→ 教養教育科目

「専攻」→ 専攻科目

「随意」→ 随意科目

(5) 教職課程に関わる諸連絡について

教職課程履修者はポータルサイト等を常に見るように心がけてください。

また、各種説明会等へは、必ず参加してください。無断欠席等の場合、履修できなくなることがあります。

3) 本学指定の必修科目 (人権論)

2 単位必修 (「教育実習」先修科目)

授業科目名	単位数	配当年次	分野
人権論 A	2	1 年次以上	教養教育
人権論 B	2	1 年次以上	教養教育

4) 「教育職員免許法施行規則」第 6 6 条の 6 に定める科目の履修方法

免許法施行規則 に定める科目	本学開講の関連科目及び単位数				
	科目名	単位数	履修要件	配当年次	分野
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	1 年次～	教養
体育	体育実技	1	1 科目必修	2 年次～	随意
	スポーツと人権・平和	2		2 年次～	教養
	健康とスポーツ	2		2 年次～	教養
	現代社会とスポーツ	2		1 年次～	教養
	人間とスポーツ	2		1 年次～	教養
外国語コミュニケーション	英語総合 1 (A)	1	2 単位必修	1 年次	教養
	英語総合 1 (B)	1		1 年次	教養
	英語総合 2 (A)	1		1 年次	教養
	英語総合 2 (B)	1		1 年次	教養
	英語総合 3	1		2 年次	教養
	ドイツ語 I	2		1 年次～	教養
	フランス語 I	2		1 年次～	教養
	中国語 I	2		1 年次～	教養
	スペイン語 I	2		1 年次～	教養
	コリア語 I	2		1 年次～	教養
情報機器の操作	教職コンピュータ基礎	2	必修	2 年次～	随意

○開講科目については、「時間割表・web シラバス」を参照してください。

○履修登録に関する諸注意については、履修要項・ポータルサイト等を参照してください。

2. 教職に関する科目の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等		中学校教諭、高等学校教諭一種免許状					開講	備考	
科目	各科目に含める必要事項	本学開講科目	単位	履修要件	分野	配当年次			
に教科に関する指導法	・各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	必修	随意	3～	大宮	※1	
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2	必修	随意	3～	大宮		
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論 A	2	1 科目 必修	教養	2～	深草	A・B 両科目を履修することが望ましい	
		教育原論 B	2		教養	2～	深草		
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む）	教職論	2	必修	随意	2～	深草		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む）	学校教育社会学	2	1 科目 必修	随意	2～	深草		
		教育社会学	2						
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論 A	2	1 科目 必修	教養	2～	深草		A・B 両科目を履修することが望ましい
		学習・発達論 B	2		教養	2～	深草		
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	必修	随意	2～	深草		
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	必修	随意	2～	深草			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法 《中学免許取得希望者のみ必修》	道徳教育指導法	2	左記参照	随意	3～	大宮	※2	
	・総合的な学習の時間の指導法（高校は総合的な探究の時間の指導法） ・特別活動の指導法	総合的な学習の時間・特別活動論	2	必修	随意	3～	大宮		
	・教育の方法および技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育の方法と技術（ICTを含む）	2	必修	随意	3～	大宮		
	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	必修	随意	2～	深草		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	必修	随意	3～	大宮		

教育実践に関する科目	・教育実習	教育実習指導Ⅰ	1	必修	随意	4	大宮	
		教育実習指導ⅡA	4	1科目 必修	随意	4	大宮	中学校免許 取得希望者 必修 ※3
		教育実習指導ⅡB	2		随意	4	大宮	高等学校免 許取得希望 者必修 ※3
	・教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	必修	随意	4	大宮	※4

○開講セメスターは年度によって変更する場合があります。毎年度の時間割表・Web シラバス等で確認してください。

- ※1 「〇〇科教育法Ⅰ」は「〇〇科教育法Ⅱ」よりも前に修得しなければなりません（先修科目）。
- ※2 高等学校免許取得希望者が、中学校免許取得に必要な「道德教育指導法（2単位）」を修得した場合は、法律で定める「大学が独自に設定する科目」に充てられます。ただし、本学で高等学校一種免許状取得に必要として開講している「教科に関する科目」および「教職に関する科目」には充当できません。
- ※3 中高両免許取得者は「教育実習指導ⅡA」（4単位）を登録すること。詳細については11ページの「Ⅱ．教育実習の履修について」を参照してください。
- ※4 「教職実践演習」の履修については、16ページの「Ⅳ．教職実践演習の履修について」を参照してください。

3. 教科に関する科目の履修方法

高等学校教諭一種免許状 公民（必修科目を含む最低修得単位数：30 単位）

科目区分	授業科目	単位数	開講年次	履修方法
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	4	3～	1 科目必修
	政治学原理	4	3～	
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学概説	4	2～	1 科目必修
	経済原論	4	3～	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	2	2～	1 科目必修
	倫理学概論	2	2～	
	宗教学概説 A	2	2～	
	宗教学概説 B	2	2～	
	心理学概論	2	1～	必修
	発達心理学	2	1～	
	臨床心理学概論	2	1～	
	心理学的支援法	2	1～	
	生涯発達と関係支援	2	1～	選択
	福祉心理学	2	2～	
	高齢者の心理と福祉	2	2～	
	仏教と心理学	2	2～	
	感情・人格心理学	2	3～	
	社会・集団・家族心理学	2	3～	
	青年心理と友人関係	2	3～	
	障害児支援と療育	2	3～	